

ImSAFER2013ver1.0

ヒューマンエラー事例分析

事故の構造に基づく分析手法: ImSAFER

ヒューマンエラー発生メカニズム

自治医科大学医学部
メデイカルシミュレーションセンター
センター長
医療安全学教授 河野龍太郎

KAWANO Ryutaro 2013 (C) 1

事例: 薬剤の過剰投与

- 新人看護師Dが、医師Eの指示書に従い、薬剤△△を生食500mLに入れて準備した。
- 看護師Dは決められた手順に従い、患者の名前を確認して、点滴を始めた。
- 引き継ぎ看護師Fが巡視の時に点滴バッグを見ると、110mLと書いてあった。これまでの量と比べて多いな、と思った。
- 調べてみると、**10mLの薬剤が110mL**となっていた。

この事例は仮想事例です。

KAWANO Ryutaro 2013 (C) 2

- 一人前のプロはエラーをしない
- ヒューマンエラーだ、また、同じミスだ
- 初歩的なミスだ
- そんなばかな、何考えているの
- 精神がたるんでいる
- 注意力が足りない
- こんな偶然はしかたがない

↓

ヒューマンエラー発生原因に対する古典的な考え

→ **エラーを科学的に理解する**

KAWANO Ryutaro 2013 (C) 3

ヒューマンエラーとは 心理学による2つの説明

ヒューマンエラー (human error) とは、人為的過誤や失敗(ミス)のこと。人によって起こされる、予め決められた(期待した)ことから逸脱した**行い・行動**のことをいう。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

↓

まず、行動を理解すること

KAWANO Ryutaro 2013 (C)

説明: その1

人間の行動はどうやって決まるか

心理学者レヴィン(Lewin)の行動の法則

$B=f(P, E)$

B: Behavior(行動)
P: Person(人)
E: Environment(環境)

人間行動には、人間特性と環境の二つが関係している

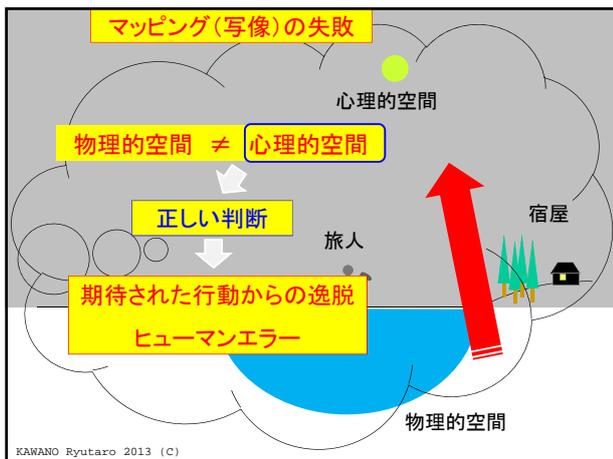
KAWANO Ryutaro 2013 (C)

説明: その2

心理学者コフカ(Koffka,K)の説明

人は自分の理解した世界(心理的空間)に基づいて行動を決定してる。

KAWANO Ryutaro 2013 (C)



心理的空間に基づいて行動した

エラーをした本人は、正しい
と思って行動している

薬剤△△110mL
投与が正しい。

心理的空間

指示書:
薬剤△△110mL
を生食500mLに
入れて投与せよ。

新人看護師D

KAWANO Ryutaro 2013 (C)

マッピングの失敗

物理的空間 ≠ 心理的空間

薬剤△△110mL
投与が正しい。

心理的空間

指示書:
薬剤△△110mL
を生食500mLに
入れて投与せよ。

指示書:
(薬剤)10mL

新人看護師D

KAWANO Ryutaro 2013 (C)

患者シミュレータ(心理的空間情報)で診断

1錠投与?
2錠投与?

血液A型
アレルギー
肺機能低下
状態

KAWANO Ryutaro 2013 (C)

ヒューマンエラー

ヒューマンエラーとは、

人間の生まれながらに持つ諸特性と人間を取り巻く広義の環境により決定された行動のうち、ある期待された範囲から逸脱したものである。

記憶容量

年齢 体調

だしい

ルール無し

分かりにくいス
イッチ類

エラー

KAWANO Ryutaro 2013 (C)

11

強調して言えば、

ヒューマンエラーは、人間の本来持っている特性と、人間を取り巻く広義の環境がうまく合致していないために、引き起こされるものである。

ヒューマンエラーは、原因ではなく、結果

KAWANO Ryutaro 2013 (C)

12

